

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	腹腔鏡下単径ヘルニア修復術で水平のランドマークとなる下腹壁動静脈の走行角度の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 消化器外科 (職名) 助教 (氏名) 篠原健太郎
研究の対象となる方	2018年12月から2022年12月までに当院で単径ヘルニアに対してロボット支援下単径ヘルニア修復術を行った男性患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>腹腔鏡下単径ヘルニア修復術において、術野の水平を維持することは手術を安全に施行するために重要なことです。水平を維持するためには下腹壁動静脈という血管を手術モニター画面の垂直に描出することが多いですが、下腹壁動静脈の実際の走行角度については明らかではありません。一方、ロボット支援下ヘルニア修復術では水平を検知する機能がついており、水平の補正を行えば実際の下腹壁動静脈の走行角度が測定できます。本研究の目的は、ロボット支援下ヘルニア修復術の手術動画を用いて下腹壁動静脈の走行角度を検証することです。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>手術入院期間中の診療情報を参照させていただきます。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>【非該当】</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>【非該当】</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	【非該当】
提供する試料・情報を用いる学外の研究	【非該当】

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年3月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	【非該当】
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：(職名) 助教 (氏名) 篠原健太郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)